

企画展

「水の器—手のひらから地球まで」

会期 六月二日(火)まで
会場 本館展示内

■関連イベント
「水の器」プログラムWET」
実施日 ①五月三日(月・祝)
②五月四日(火・祝)

時間 一三時三〇分～一五時三〇分
会場 第五セミナー室
定員 各回二〇組(要申込)
実費 五〇〇円

参加申し込み方法
タイトル・実施日・参加人数・参加者氏名・年齢・住所・代表者の電話番号とFAX番号を書いて左記までお申し込みください。対象は小学生です。申し込み締め切り
四月三日(金)

E-mail: workshop@idc.ninpaku.ac.jp
FAX 〇六六八七八七五三
関連イベントのお問い合わせ
情報企画課情報企画係
電話 〇六六八七八八五三三
(平日九時～一七時)

◆「伊勢の染型紙—映像と実物にみる匠の技—」
会期 六月二九日(火)まで
会場 本館展示内
※研究者によるギャラリートークをおこないます。
日時 四月六日(火)
一四時三〇分～一五時三〇分

◆研究公演
「日本に舞う中国の龍と獅子—チャイナタウンに見る文化の継承と伝播」
実施日 四月一八日(日)
時間 一三時三〇分～一五時三〇分

会場 本館一階エントランス・正面玄関(屋外)
※参加無料・申込不要

◆研究公演
「狂言を知る—観る楽しさと演じる喜び」
実施日 五月九日(日)
時間 一三時三〇分～一五時三〇分(開場一三時)
会場 講堂
定員 四五〇名
※参加無料・申込不要

◆「みんなく映画会
民族学者とヒマラヤ、南極」
実施日 五月一日(土)
時間 一三時三〇分～一五時五〇分(開場一三時)

③「花嫁の峰チヨリザ」
実施日 五月八日(土)
時間 一三時三〇分～一五時五〇分(開場一三時)
会場 講堂
定員 四五〇名
※参加無料・申込不要
研究公演・映画会のお問い合わせ
広報企画室企画連携係
電話 〇六六八七八八二〇
(平日九時～一七時)

◆「みんなく春の遠足・校外学習 事前見学&ガイダンス」
学校団体の先生方を対象としたガイダンスを開催します。
実施日① 四月四日(日)
時間 一〇時三〇分～一七時(受付一六時三〇分まで)
実施日② 四月五日(月)
時間 一三時～一七時(受付一六時三〇分まで)
会場 第一セミナー室ほか

※参加無料・要事前申込
お問い合わせ
広報企画室広報係
電話 〇六六八七八八五六〇
(平日九時～一七時)

●音楽展示・言語展示があたりなくりました。
●無料観覧日・休館日変更のお知らせ
五月五日(水・祝) ことものは、本館展示を無料で観覧いただけます。ただし、自然文化園を通行される場合は、入園料が必要です。
また、五月五日(水・祝)は、祝日のため開館し、翌六日(木)を休館します。
*詳細については、みんなくホームページをご覧ください。

刊行物紹介

■林勲男 著
『自然災害と復興支援』
みんなく実践人類学シリーズ9
明石書店 定価: 7,560円(税込)

2004年暮れに発生し、人類史に残る甚大な被害をもたらしたインド洋地震津波災害被災地の復興支援について、スリランカ・インド・タイ・インドネシアでの現地調査に基づき分析する。



■西尾哲夫・堀内正樹・水野信男 編著
『アラブの音文化—グローバル・コミュニケーションへのいざない』
スタイルノート 定価: 2,100円(税込)

音文化という考え方によって、音が作り出すコミュニケーションを「音楽」という狭い枠から解放し、アラブ世界の文化をグローバル・コミュニケーションという独自の視点に立って考察する。



■大貫良夫・加藤泰建・関雄二 編
『古代アンデス 神殿から始まる文明』
朝日新聞出版 定価: 1,470円(税込)

日本のアンデス考古学調査は、50年以上にわたり継続してきた。2008年、東京で開催された50周年記念シンポジウムとともに、調査の足跡と、現在進行形の発掘に関する最新の成果が盛り込まれている。



みんなくゼミナール

会場 国立民族学博物館 講堂
時間 13:30~15:00(13:00開場)
定員 450名(当日先着順)
参加費 無料

展示場をご覧になる方は、観覧料が必要です。

第383回 4月17日(土)
[新言語展示関連]
ことばの宇宙を届けたい
—新しい言語展示の表話・裏話
講師 菊澤律子(先端人類科学研究部准教授)
1人でも多くの人にことばの世界の楽しさを伝えたい。できるだけ多くの人に世界のことばのことを知って欲しい。そんな民博の言語学者の思いが2010年3月末、「言語展示」という形になります。展示の設計のプロセスや装置開発に関するエピソードを、展示場に入りきらなかったことばのおはなしと一緒に紹介します。



第384回 5月15日(土)
[新言語展示関連]
世界のことば—語順と系統
講師 長野泰彦(民族文化研究部教授)
新しい言語展示では、3000とも4000とも言われる世界の言語の多様性を示すとともに、語順等に観察される普遍性を浮き彫りにします。また、諸言語の歴史関係を大胆に鳥瞰できる図も作成しました。これらをどのように利用していただけるか、日本語は世界の中でどういった位置づけになるのかにも触れます。



友の会

友の会講演会(大阪)
会場●国立民族学博物館
第5セミナー室
定員●96名(当日先着順、会員証をご提示ください)

第383回 5月1日(土)
時間●14:00~15:30(13:30開場)
一つの列島、二つの国家、三つの文化
講師 佐々木利和
(北海道大学アイヌ・先住民研究センター教授)
日本は単一民族国家であるという認識がひろくみられますが、本当にそうでしょうか。歴史的に考えてみると琉球、アイヌの人びとはそれぞれ固有の言語や文化、社会を維持してきました。日本という国のなかで、琉球、アイヌの文化は今後、どうやってゆくのでしょうか。

第384回 6月5日(土)
時間●14:00~15:30(13:30開場)
文明の融合都市、イスタンブールのゆくえ
講師 新免光比呂(民族文化研究部准教授)

東京講演会
会場●JICA地球ひろば
セミナールーム301
定員●60名(申込制、下記「友の会」まで)

第92回 4月10日(土)
時間●14:00~15:30(13:30開場)
文化人類学に生きる
—館長就任1周年を迎えて—
講師 須藤健一(館長)

第93回 5月22日(土)
時間●14:00~15:30(13:30開場)
東北アジアのシルクロード
—人びとをつなぐ河の道
講師 佐々木史郎(研究戦略センター教授)
※3月号のタイトルが「東アジア」となっておりました。訂正しおわびします。

国立民族学博物館友の会
電話 06-6877-8893
ファックス 06-6878-3716
電話でのお問い合わせは
月曜~金曜日9時から17時までをお願いします。
http://www.senri-f.or.jp/
E-mail
minpakutomo@senri-f.or.jp

ミュージアム・ショップ

現在開催中の企画展にあわせ、ミュージアム・ショップでは関連商品を取りそろえております。生命の根源「水」にまつわる企画展「水の器—手のひらから地球まで」からは、展示をより一層親しんでいただくための解説書を。

また、企画展「伊勢の染型紙—映像と実物にみる匠の技—」からは、日本伝統の技がいきる染型紙にちなんだ数々の商品を準備し、皆様のご来店をおまちしております。



企画展解説書「水の器—手のひらから地球まで」
編集: 田口理恵・久保正敏・秋道智彌
発行: 大学共同利用機関法人 人間文化研究機構
定価: 500円(友の会会員価格: 450円)
発送手数料: 400円

国立民族学博物館
ミュージアム・ショップ
電話 06-6876-3112
ファックス 06-6876-0875
水曜日定休
ウェブサイトもご覧ください。
オンラインショップ
「World Wide Bazaar」
http://www.senri-f.or.jp/shop/
E-mail shop@senri-f.or.jp